

Title	語文 第55輯 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 1990, 55
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68823
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

編集後記

▽真夏日の記録を更新した残暑から一転、台風の訪れ相次ぐ秋になった。第五十五輯は、印刷所の選定などで予定が遅れたので、お手元に届くのは、秋も名残の惜しまれる頃であろう。

▽本輯には昨年十月御他界になった小島吉雄先生追悼の文を、田中裕・八木毅・鈴木亨の三氏からお寄せいただき、ありし日をともおおぼびすることにした次第である。論文は四編、そのうち重見一行・大鹿薫久両氏の二編がそれぞれ中古語・現代語に関する国語学の論考、出原隆俊・近本謙介両氏の二編が国文学の論考で、こちらにも近本氏のは中世文学、出原氏のは近代文学とそれぞれ時代を異にしている。それに加えて、伊藤茂氏による島津忠夫「能と連歌」の新刊紹介を掲載することができた。御執筆いただいた各位に厚くお礼申し上げたい。

▽慌ただしい情報化の時代ではあるが、ほどよく熟成した成果を御投稿願えれば幸いである。

(山口 堯二)

語文 第五十五輯

平成二年十一月二十五日 印刷
平成二年十一月 三十日 発行

編集者
大坂大学国語国文学会

〒560 大坂府豊中市待兼山町一―一

大坂大学文学部国語国文学研究室

代表 信多純一

振替口座 大坂 四―二四六四一

電話 (〇六) 八四四―一一五二

印刷 昭和堂印刷所